

2022年度 情報社会学部カリキュラムマップ

情報社会学部は、現代社会／経営・経済／情報コミュニケーションという3つの専門分野(コース)を設けており、これら3分野の教育課程を、自分の関心に応じたバランスで修得することができます。
 情報化の進む現代社会で活躍できる多様な能力を身に付けた人材を育成するため、以下のような知識や能力、姿勢を身に付けられるように、教育課程を編成し、所定の単位を修得して卒業認定ができた学生に対して、学士の学位を授与します。

(情報社会学部CP)		情報社会学部DP1		情報社会学部DP2		情報社会学部DP3	
情報社会学部は、現代社会／経営・経済／情報コミュニケーションという3つの専門分野(コース)を設けており、これら3分野の教育課程を、自分の関心に応じたバランスで修得することができます。 コース選択は1年次終了前に自らの関心に依りて行いますが、途中で関心が変わればコースを変更することも、関心が複数のコースに広がれば所属するコース以外のコース科目を履修することもできます。 このように、学びながら自らの関心を深め、各分野における専門的な知識や能力、学びの姿勢を修得できるように、教育課程を以下の通り編成し、講義・演習・実習等を適切に組み合わせた授業を展開します。		新しい時代を生きる職業人として必要な思考力と課題解決能力 ・3つの専門分野を横断的に学んで実践的な思考法を身に付け、現代社会の諸問題を発見し、課題解決の道筋を立てることができる。		各学問分野における実学的な専門知識と技能 ・全学共通の幅広い教養と、3つの専門分野(すべて、あるいはいずれか)に関する科学的な知識・技能を身に付けて、社会生活に役立てることができる。		社会とつながり、多様な人々と協働できる人間力 ・多様性を尊重して主体的に他者と関わり、現代社会の諸課題に関心を持って、その解決に意欲的に取り組む姿勢を備えている。	
(情報社会学部CP2)		情報社会学部DP1		情報社会学部DP2		情報社会学部DP3	
専門的な知識と技能を体系的に身に付けて、現代社会における諸課題の解決に意欲的に取り組むことができるよう、3つの専門分野それぞれにおいて、自由度の高いコース科目群と発展科目群を置く。							
区分/CP	科目名	思考力	課題解決力	知識	技能	主体性	つながる力
A-1	基礎社会学	◎		○			○
	社会調査の読み方 I		○	◎	○		
	企業分析の基礎	◎	○	○			
	経営学基礎	○		◎		○	
	現代社会とコンピュータ	○		◎	○		
	情報リテラシー		◎	○	○		
A-1合計	◎ ○	2 2	1 2	3 3	0 3	0 1	0 1
A-2①社会	メディア・コミュニケーション論	○	○	◎			
	社会調査論 I	◎		○		○	
	国際社会論	○		○		○	
	社会的ネットワーク論	○	○				◎
A-2①社会合計	◎ ○	1 3	0 2	1 2	0 0	0 2	0 0
A-2②経営・経済	基礎経済学	◎	○	○			
	企業経営論			○			
	簿記論(初級) I	○		○	○		
	経営・経済基礎論	○	○	◎			
A-2②経営・経済合計	◎ ○	1 2	0 2	1 3	0 1	0 0	0 0
A-2③情報	プレゼンテーション技法	○	○	○	○	○	○
	現代社会と人工知能	○	○	◎	○		
	プログラミング思考入門	◎	○			○	
	基本情報システム論	○	○	◎			
	情報ネットワーク論	○		◎	○		
A-2③情報合計	◎ ○	1 4	0 4	3 1	0 3	0 2	0 1
A-2全体合計	◎ ○	3 9	0 8	5 6	0 4	0 4	0 1
B現代社会コース	社会調査論 II	◎		○		○	
	アンケート調査の企画と実践	○	◎		○		
	アンケート分析法		○	○	◎		
	インタビュー分析法	◎				○	○
	社会調査ケーススタディ	◎	○				○
	家族社会学	○	○	◎		○	○
	教育社会学	◎		○			○
	地域社会学	◎	○	○			
	都市社会学	◎	○	○			
	消費社会学	○		◎		○	
	消費者行動論	○	○	◎			
	若者論	○	○	◎			
	ポピュラーカルチャー	○		◎			○
	コミュニケーション論			○			
	メディア論	◎		○			
	メディア社会論	◎	○	◎			
	マスコミュニケーション論	◎	○	○			
	ソーシャルメディアの社会学	○	○	○			
	メディア制度論	◎	○	○			
	メディアリテラシー論	◎	○	◎			
	広告戦略論	◎	○	○			
	広告クリエイティブ論	◎	○		○		
	国際文化論	○		○			○
	ヨーロッパ研究	○		○			○
	時事国際関係論	○	○	○			
	観光サービス論	○	○				◎
	文化人類学	○		◎			○
	社会福祉論	○	○	○			○
	社会政策	○	○	◎			
	地域文化論	○		○			◎
	ボランティア論	○	○			◎	
	ジェンダー論	○	◎	◎		○	○
農村政策	○	○	◎				
地域政策	◎	○	○				
社会保障論	○	○	○			○	
高齢者福祉論	○	○	◎				
社会調査演習(アンケート) I	○	◎			○		
社会調査演習(アンケート) II	○	◎			○		
現代社会特殊講義	○	◎	○		◎	○	
B現代社会コース合計	◎ ○	12 20	5 23	12 19	2 2	2 9	2 10

B経営・経済コース □経営・経済コース 経営管理や会計学の理論と手法を駆使した企業経営の分析や、よりよい社会の仕組みや制度の検討・提案を行う能力を修得する。	英文会計		○		○				
	簿記論(初級)Ⅱ		○		○		◎		
	原価計算論入門				○		◎		
	原価計算論				○		◎		
	財務会計論	○			◎		○		○
	簿記論(中級)		○		○		◎		
	金融機関論		◎	○					
	金融リテラシー		◎					○	
	経済情報分析		○		○		◎		
	経営戦略演習			○					
	経営戦略論								
	データサイエンス統計学基礎					◎		○	
	実践データサイエンス		◎	○				○	
	現代社会と労働		○			◎			
	国際経営論		○	○		○			
	国際経済論		○	○		◎			
	国際マーケティング論		○			◎			○
	コーポレートガバナンス		○			◎			
	人的資源管理論		○			◎			
	組織論					○			
中小企業論		○	○		○				
マーケティング論		○			◎			○	
ミクロ経済学Ⅰ		◎	○						
ミクロ経済学Ⅱ		◎	○						
労働経済学		◎	○						
Pythonによるファイナンス		◎	○			○			
経営・経済特殊講義		○	◎		○			○	
B経営・経済コース合計		◎	7	1	7	5	0	0	
		○	14	10	13	4	4	1	
B情報コミュニケーションコース □情報コミュニケーションコース コンピュータ理論と情報処理技術を駆使して、コミュニケーションやビジネスのあり方を考え、実現する能力を修得する。	ロジカルシンキング		◎	○	○				
	スマートフォンアプリ開発基礎		○		○		◎		
	スマートフォンアプリ開発応用		○		○		◎		
	Webデザイン基礎			○	◎		○		
	Webデザイン応用			○	◎			○	
	企業情報システム論		○		◎		○		
	空間情報処理基礎		○	○	○		◎		
	空間情報処理応用		○	○	○		◎		
	ゲーミング基礎		◎	○	○				
	ゲーミング応用		○	◎				○	
	ゲームデザイン基礎		○		◎		○		
	ゲームデザイン応用		◎				○	○	
	戦略的意思決定論		◎		○		○		
	情報システム設計		○		○		○		
	情報システムの法的保護		○		○				
	情報社会と倫理		○						
	サイバー犯罪とセキュリティ		○	○	◎				
	インターネット論		○		◎		○		
	情報と職業		○	○				◎	○
	データセキュリティ基礎		○	○	◎		○		
	人工知能技術基礎		○		◎		○		
	人工知能技術応用		○		◎		○		
	身体情報処理基礎				◎		○	○	
身体情報処理応用			○	◎		○	○		
データサイエンス基礎		○	○	◎					
データサイエンス応用			◎	○		○			
データベース論		○		◎		○			
インタラクティブデザイン論		○	○	○		○			
Pythonプログラミング		○		◎		○			
Pythonとデータベース		○	○	◎		○			
スポーツ情報論		○		◎					
メディア産業論		○	○	◎			○		
インターネットと著作権		○	○	◎					
映像メディア論		○		◎			○		
メディアアート論		○		◎			○		
情報コミュニケーション特殊講義		○		◎		◎			
B情報コミュニケーションコース合計		◎	4	2	17	5	1	0	
		○	24	15	14	15	6	4	
C-1	Accounting History				○		○		○
	Comparative Civilizations		○		○			○	
	Financial Accounting				○		○		○
	Global History		○		○				○
	プログラミング基礎		○	○	○		◎		
	プログラミング応用		○	○	○		◎		
	社会調査の読み方Ⅱ		○		◎		○		
	データサイエンス統計学応用			◎	○		○		
	経済シミュレーション		○		○		◎		
	コンピュータ統計学			○	○		◎		
	時事金融論		◎	○					
	情報科教育法Ⅰ		○	○	◎				
	情報科教育法Ⅱ		○	◎	○				○
	認知とデザイン		○	○					○
	情報行動論		○	○	○				
	デジタルマーケティング論		○		○			○	
	会計と歴史		○		◎		○		○
	財務諸表分析Ⅰ		◎	○	○				
	財務諸表分析Ⅱ		◎	○	○				
	社会起業論			◎	○		○		
地域コミュニティ論		○	○	○		○			
ファンディング・ビジネス論			◎				○	○	
職業指導									
情報社会特殊講義		○	◎				○		
C-1合計		◎	3	5	3	4	0	0	
		○	13	10	16	7	4	7	

D	情報社会学部基礎演習	○	○			○	◎
	演習Ⅰ	○	○	○	○	○	○
	演習Ⅱ	○	○	○	○	○	○
	演習Ⅲ	○	○	○	○	○	○
	卒業研究	○	○	○	○	○	○
D合計	◎	0	0	0	0	0	1
	○	5	5	4	4	5	4
全体合計	◎	31	14	47	16	3	4
	○	87	73	75	39	33	28

これらの教育課程について、「大阪経済大学アセスメント・プラン」に基づき、様々な角度からの評価（試験・レポート、小テスト、外部アセスメントテスト等）をすることにより学修成果を把握します。

また、教育課程における各授業科目については、シラバスに到達目標を定めどのように評価するかを記載することで質を保證するとともに、教育課程全体の評価・検証の状況を把握

